



ライセンスング

Cisco Unified Communications Manager の管理ページにライセンスングを使用することにより、サードパーティの SIP 電話機も含めて、Cisco Unified Communications Manager に接続されたデバイスの数を正確に追跡でき、その数と購入したユニット ライセンスの数を比較できます。

ライセンスング機能は、Cisco Unified Communications Manager ライセンスの管理と、Cisco Unified Communications Manager アプリケーションのライセンスおよび IP Phone の数の順守に役立ちます。Cisco Unified Communications Manager の管理ページのライセンス設定用のウィンドウを使用すると、購入して使用している電話機およびノードのライセンスを管理できます。

ライセンスは、要求された Cisco Unified Communications Manager ノード (Cisco Unified Communications Manager クラスタ内のサーバ) およびそれらのノードに関連付けられた電話機に対して生成されます。ライセンスには、プロダクション ライセンスおよびスターター ライセンスの 2 種類があります。Cisco Unified Communications Manager のプロダクション ライセンスは、シスコから購入した電話機およびノードのライセンスで構成されます。新規インストールの Cisco Unified Communications Manager (アップグレードおよび移行の場合はサポートされません) には、スターター ライセンスが含まれています。このライセンスは、プロダクション ライセンス ファイルがアップロードされたときに置き換えられます。

この章の構成は、次のとおりです。

- [ライセンス対象デバイスのタイプ \(P.14-2\)](#)
- [ライセンスの分割 \(P.14-3\)](#)
- [アラーム \(P.14-3\)](#)
- [ソフトウェア ライセンス バージョン \(P.14-4\)](#)
- [スターター ライセンス \(P.14-4\)](#)
- [ライセンス ファイルの転送 \(P.14-5\)](#)
- [参考情報 \(P.14-6\)](#)

ライセンス対象デバイスのタイプ

ライセンス デバイスのタイプには、IP Phone などの物理デバイスと IP Communicator などのアプリケーションがあります。

プライマリ デバイスのライセンス

それぞれの電話機タイプごとに固定数のデバイス ライセンス単位が必要です。たとえば、Cisco Unified IP Wireless Phone 7920 には 4 デバイス ライセンス単位が必要であり、Cisco Unified IP Phone 7970 には 5 デバイス ライセンス単位が必要です。4 台の 7920 電話機と 4 台の 7970 電話機用にライセンスが必要な場合は、36 デバイス ライセンス単位が必要になります。また、IP Communicator や Mobility Voice Access など、特定のタイプのアプリケーションもデバイス ライセンス単位を消費します。

付加デバイス（アプリケーション）のライセンス

Cisco IP Communicator、Cisco Unified Mobile Communicator、Cisco Unified Personal Communicator など、特定のタイプのアプリケーションはデバイス ライセンス単位を消費します。たとえば、IP Communicator をエンド ユーザのプライマリ デバイスとして設定する場合、3 つのデバイス ライセンス単位が消費されます。（[電話の設定（Phone Configuration）] の [プライマリ Phone（Primary Phone）] フィールドで電話機を選択して）付加デバイスとして設定する場合は、1 つのデバイス ライセンス単位が消費されます。消費されるライセンスは [ライセンスユニット計算（License Unit Calculator）] ウィンドウに [Cisco IP Communicator（Adjunct）] として表示されます。

モビリティ エンド ユーザのライセンス

（[エンドユーザの設定（End User Configuration）] ウィンドウの [モビリティの有効化（Enable Mobility）] チェックボックスをオンにして）モビリティ機能を持つエンド ユーザを設定する場合は、2 つのデバイス ライセンス単位が消費されます。[モビリティの有効化（Enable Mobility）] チェックボックスをオフにすると、この 2 つのデバイス ライセンス単位は再度 0 に設定されます。

プライマリ ライセンス単位と付加ライセンス単位、およびモビリティ エンド ユーザのライセンス単位が Cisco Unified Communications Manager でどのように計算されるかについて、次の表に例を示します。

| 設定するデバイスのタイプ | デバイス ライセンス単位の数 |
|--|--|
| Cisco Unified IP Phone 7961 | 4 |
| Cisco IP Communicator | 3 |
| Cisco Unified Personal Communicator（CUPC） Softphone | 3 |
| Cisco IP Communicator または CUPC Softphone を既存デバイス（Cisco Unified IP Phone 7961 など）に関連付ける | これらのデバイスで使用されるライセンスは、付加単位（1 ライセンス）として設定されるので、モデル 7961 のライセンス単位の数は、3 になります（4 - 1）。 |
| エンド ユーザを作成し、[モビリティの有効化（Enable Mobility）] チェックボックスをオンにする | [モビリティ有効エンドユーザ] の 2 単位が、[ライセンスユニット計算（License Unit Calculator）] ウィンドウの [使用中ユニット数（Number of Units Consumed）] カラムに追加されます。 |

それぞれの電話機およびアプリケーションに必要なライセンスの単位数については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ライセンスユニットの計算方法」を参照してください。

ライセンスの分割

シスコのデバイスを注文されると、シスコから Product Authorization Key (PAK) が提供されます。PAK を使用すると、10,000 台以上のデバイス ライセンス単位のバンドルを購入した場合に、複数のクラスタにライセンスを分割できます。

たとえば、1 回の注文で Cisco Unified Communications Manager ノード 20 台と電話機 20000 台の単位を要求したとします。要求が承認されると、PAK が発行されます。この PAK を使用して、お客様はライセンスを複数のクラスタにまたがって分割でき、1 つのライセンス ファイルには Cisco Unified Communications Manager ノード 15 台と電話機 15000 台の単位が含まれ、もう 1 つのライセンス ファイルには Cisco Unified Communications Manager ノード 5 台と電話機 5000 台の単位が含まれています。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページで各デバイスごとに必要となるライセンス単位の数を判別するには、[システム] > [ライセンス] > [ライセンスユニット計算] の順に選択します。このウィンドウには、各デバイス タイプごとに必要なライセンス単位の数が示されます。

追加情報

P.14-6 の「参考情報」を参照してください。

アラーム

ライセンシングについて、次のアラームが生成されます。

- CiscoLicenseManagerDown
- CiscoLicenseOverDraft
- CiscoLicenseRequestFailed
- CiscoLicenseDataStoreError
- CiscoLicenseInternalError
- CiscoLicenseFileError

Cisco Unified Communications Manager が適切なライセンス ファイルを保有していない場合は、Real-Time Monitoring Tool (RTMT) アラートが生成されます。これらのアラームを検索するには、Cisco Unified Serviceability で JavaApplications Alarm Catalog にアクセスします。アラームの詳細については、『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。アラートの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド』を参照してください。

追加情報

P.14-6 の「参考情報」を参照してください。

ソフトウェア ライセンス バージョン

Cisco Unified Communications Manager は、ソフトウェア ライセンス バージョンを追跡します。このバージョン確認は、Cisco CallManager サービスが再起動するときに毎回実行されます。(ライセンス ファイルが見つからないなどの理由で) Cisco Unified Communications Manager がロードに失敗した場合、サービス マネージャは Cisco CallManager サービスの再起動を 3 回試行します。再起動のたびにライセンス ファイル確認が実行され、アラームが syslog に書き込まれます。

ソフトウェア ライセンス バージョンは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [ライセンスユニットレポート (License Unit Report)] ウィンドウに表示されます。『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ライセンス ユニット レポート」を参照してください。

追加情報

P.14-6 の「参考情報」を参照してください。

スターター ライセンス

Cisco Unified Communications Manager では、実際のライセンス ファイルをインストールする前に Cisco Unified Communications Manager のインストールを開始できるように、スターター ライセンスが提供されています。スターター ライセンスは、使用可能な数は限られていますが、有効期限はありません。スターター ライセンスを使用できるのは、新規インストールに限られます。以前のリリースからアップグレードまたは移行する場合には、スターター ライセンスを使用できません。スターター ライセンスがサポートするのは、単一ノードの Cisco Unified Communications Manager で最大 50 のデバイス ライセンス単位です。

スターター ライセンス単位は、プロダクション ライセンスを購入すると置き換えられます。

追加情報

P.14-6 の「参考情報」を参照してください。

ライセンス ファイルの転送

Cisco Unified Communications Manager 上で最初のノードに障害が発生し、新しいノードが最初のノードとして設定された場合は、ライセンス ファイルを新しいノードに転送する必要があります。

次の 2 つのシナリオが考えられます。

シナリオ 1

お客様がすでにライセンス ファイルを取得していて、それをまだライセンス マネージャにアップロードしていない。

解決策 同じライセンス情報と新しい MAC アドレスで新しいライセンス ファイルを生成します。

シナリオ 2

お客様がすでにライセンス ファイルを取得し、それをライセンス マネージャにアップロードしている。新しいノード上にライセンス情報が存在するが、ライセンス ファイルは存在しない。

解決策 同じライセンス情報と新しい MAC アドレスで新しいライセンス ファイルを生成します。

追加情報

P.14-6 の「[参考情報](#)」を参照してください。

参考情報

- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ライセンスファイルのアップロード」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ライセンスユニット計算」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ライセンスユニットレポート」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「電話機の設定値」
- 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「サードパーティ製 SIP 電話機用のライセンス」
- 『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』
- 『Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド』